



# 令和4年度 進路だより



第10号  
令和4年8月26日  
南風原町立南風原中学校  
発行者 進路担当

## 専門高校へ行ってきました

担当として多くの高校の体験入学に参加して思うことが、専門高校には普通高校にはない魅力が沢山あるな、ということです。よく分からないことは選択肢に入れ難い。さらに、専門高校ならではの専門教科が多いので、自分に合わない大変しそう。という理由で無意識に選択肢から外している生徒も多いと予想します。そこで、専門高校がどのような学校か情報を得ることで、専門高校を選択肢の1つにする生徒が増えたらいいなと思い、今号では7、8月にあった工業高校の体験入学で聞いてきたことを紹介します。

### 高校卒業後の進路について

現在、工業高校でも進学を選択する生徒が増えています。その一因は貸与型奨学金（本人に返済義務あり、利息なし）が取得しやすくなったことがあげられます。工業系の大学に指定校推薦で進学した場合、その学費はおよそ400万。現在、人口減少に伴い高校に来る求人は増えています。同じ企業に高卒と大卒で就職した場合、給与の差は国場組で約1万5千…。奨学金返済義務の400万を持って大卒で入社するのと、返済義務なしで高卒で入社する場合で生涯年収を考えるとそれほど差がつくでしょうか？また、多くの企業では、給与査定に係る資格取得を助成する制度が設けられています。

明確な目標がある場合は勿論別ですが、高卒で就職する人が少ないからさらに進学して就職しよう。皆そうだし、という考えなら高校でしっかり技術を身につけて一回就職するという選択肢も検討してみては？という話しを浦添工業の先生としましたので紹介しました。

自分自身は学歴で嫌な思いをした経験はなく、同僚の学歴も特に気にしたことはありません。高卒で働く場合の不利益を想像することは難しいので、左記のような話を聞くと、なるほど、高卒で働くのも良いね！と素直に思ってしまう。

ただ、技術系の国家資格は人生の強みになるな、とは思うので、物作りが好きなら、とりあえず専門高校に進学して、国家資格を中心に取得して、その取得するためにやる努力の結果、得た判断力で次の進路を考えるのもいいのでは？と思っています。



那覇工業定時制では、個別に体験入学を設定しています。希望者は9月9日（金）までに担任の先生に申し出て下さい。希望者同士で日程を調整し実施します。

### 那覇工業 定時制 ～4年かけてゆっくり進路を考える～

定時制とは夕方6時から授業が始める高校のことです。40代の親世代が抱く定時制高校と現在はだいぶ違いますよと、教えてもらったメリットとデメリットを紹介しています。

#### メリット

- ①経済的負担が軽い。
  - ・校納金が全日制より約1万ほど少ない
  - ・制服がない
  - ・バイク通学がOK
- ②生活リズムに合った学び。
- ③困り感に対応した指導の充実。
  - ・支援員が5名配置
- ④資格、検定の取得。
- ⑤進路指導の充実。
  - \*定員に対しての職員数が多いので、職員が個に対応する時間を多くとれる。

#### デメリット

- ①修業期間が4力年である。
  - ・3力年で卒業することも可能
- ②自己管理や強い意志を要する。
- ③帰宅時間が遅い
  - ・夜の9時35分に終了
  - \*多くの同級生と異なる時間の使い方をするので、自分はどうする。

- ◎南部工業高校体験入学募集
- 申込み〆切：8月31日（水）
- 日時：9月13日 13:00～16:10
- \*募集期間が短いのでこの場でも紹介します。